※令和４年度以降入学生用

学校番号	217

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	保育基礎（教育図書）						
副教材等	保育基礎　ワークノート（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関心を持ち、積極的に取り組みましょう。

・子どもの発達の特性や発達過程、保育などの様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身につけます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えを持ち、広げていきましょう。子育てサークルの方々や幼稚園教諭、保育所の保育者の話を聞き、さらに友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えを持ち、広げていきましょう。

・子育てサークルとの交流や保育所等の実習などを通して実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけます。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい地域生活をめざします。

2　学習の到達目標

（1）子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を習得させる
（2）子どもの発達の特性や発達過程、子育て支援などについて課題を見出し、思考を深めさせる
（3）子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を身につけている。 保育所等の実習を通して子どもと触れ合ったり、子育てサークルの方々と交流を図ったりする学習を通して、子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身につけている。	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見出し、子育てサークルの方から具体的な話を聞いたり、保育所等での実習を経て課題を見出し、思考を深め、適切に判断し、創意工夫し表現する能力を身につけている。	子育てサークルの方々との話を聞いたり、保育所等の実習を経験することで、子どもの発達や子育て支援について関心を持ち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	子どもの生活	○子どもの健康と安全 ・保育者の役割 ・子どもの病気の特徴 ・子どものおもな病気 ・病気の子どもの看護の方法 ・病気の予防 ・子どもの安全 ・子どもの成長と遊びのなかの危険 ・応急処置と救急用品 [子育てサークルの方々から話を聞く] [近隣の保育所等での実習] ＊安全、衛生面より保育所に入れる人数が限定されるため、生徒人数により3～4班に分け、1班は実習、ほかは学校で授業を行う	a：子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を身につけている。子育てサークルの方々のお話を聞く、保育所実習などを通して子どもの発達の特性について検討する技術を身につけている。 b：子どもの発達の特性や支援について、子育てサークルの方々のお話を聞く、保育所実習などを通して課題を見出し、その解決にめざして考え、表現している。 c：子育てサークルの方々のお話を聞く、保育所見学などを通して、子どもの発達の特性について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている	・定期考査 ・学習ノート ・ワークシート ・授業観察	・定期考査 ・学習ノート ・ワークシート ・授業観察	・授業観察 ・学習ノート ・ワークシート ・授業観察

※令和４年度以降入学生用

2	子どもの福祉	○保育にみる児童観 ・大人の意のままになる存在 ・「子ども」の発見 ○児童福祉の理念と法規・制度 ・児童福祉の歴史 ・児童福祉の法律 ・児童福祉にかかわる施設 [子育てサークルの方々から話を聞く] [近隣の保育所等での実習] ＊安全、衛生面より保育所に入れる人数が限定されるため、生徒人数により3～4班に分け、1班は実習、ほかは学校で授業を行う	a:児童福祉を保証するための法律や制度などについて理解し、知識を身につけている。子どもの発育・発達、特徴などについて評価する技術を身につけている。子育てサークルの方々のお話を聞く、保育所実習などを通して子どもの発達の特性について検討する技術を身につけている。 b: 児童福祉を保証するための法律や制度などについての課題を見出し、その解決をめざして考え、表現している。子どもの発達の特性や支援について、子育てサークルの方々のお話を聞く、保育所実習などを通して課題を見出し、その解決にめざして考え、表現している。 c: 児童福祉を保証するための法律や制度などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。子育てサークルの方々のお話を聞く、保育所見学などを通して、子どもの発達の特性について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている	・定期考査 ・学習ノート ・ワークシート ・授業観察	・定期考査 ・学習ノート ・ワークシート ・授業観察	・授業観察 ・学習ノート ・ワークシート ・授業観察

※令和４年度以降入学生用

3	子どもの文化	○子どもの文化の意義 ・子どもの文化とは ・子どもの文化の現状 ○子どもの文化を支える場 ・児童文化施設 ・その他の施設 ○子どもと遊び ・遊びの意義 ・遊びの種類と発達 ・遊びと遊具のかかわり ・遊びの現状 ○子どもの表現活動 [子育てサークルの方々から話を聞く] [近隣の保育所等での実習] ＊安全、衛生面より保育所に入れる人数が限定されるため、生徒人数により3～4班に分け、1班は実習、ほかは学校で授業を行う	a: 子どもの文化の現状などについて理解し、知識を身につけている。子どもの発育・発達。特徴などについて対応する技術を身につけている。子育てサークルの方々のお話を聞く、保育所実習などを通して子どもの発達の特性について検討する技術を身につけている。 b: 子どもの文化の現状などについての課題を見出し、その解決をめざして考え、表現している。子どもの発達の特性や支援について、子育てサークルの方々のお話を聞く、保育所実習などを通して課題を見出し、その解決にめざして考え、表現している。 c:子どもの文化の現状などについて関心を持ち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。子育てサークルの方々のお話を聞く、保育所見学などを通して、子どもの発達の特性について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている	・定期考査 ・学習ノート ・ワークシート ・授業観察	・定期考査 ・学習ノート ・ワークシート ・授業観察	・授業観察 ・学習ノート ・ワークシート ・授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度